

「第8回小野ハーフマラソン」を支援して

兵庫県隊友会東播支部（支部長 石田真一）は令和3年12月5日、小野市役所前を発着とした「第8回小野ハーフマラソン大会」の開催を支援しました。支部長ほか15名が支援に参加し、スタート・ゴール周辺コースへの応援者侵入防止、スタート位置等での走者間隔の1m保持、ハーフ完走者等へのマスクやドリンク配布を行いました。

今回のハーフ参加者は定員よりも少ない約3,600名でしたが、小学生の1.5kmコース、中学生・一般の3kmコースにも大勢のエントリーがあり、全体としては盛会であったと思います。

本大会は、大会会長として赤星憲広氏（元阪神タイガース）を、大会アンバサダーとして狩野恵輔氏（元阪神タイガース）を迎えたほか、チャリティーランナーとして阪神タイガース及びオリックス・バファローズからも現役選手・コーチが参加しました。また、宇田秀生選手（東京2020パラリンピック競技大会 トライアスロン 銀メダリスト）と小野市出身の小林祐梨子氏（北京オリンピック競技大会 5,000m出場）、野上恵子氏（ジャカルタアジア大会競技大会 マラソン 銀メダリスト）がゲストランナーとして大会を盛り上げました。

我々は午前8時30分に集合後、市役所担当者による説明を受け、それぞれの持ち場に移動して支援を行いました。支援が終了する午後1時までの間、立ちっぱなしの状態に、ランナーの応援等も加わり、結構な疲れを感じましたが、隊友会の知名度向上、地域イベントの盛り上げ、大会参加者に気持ちよく帰っていただきたい、来年も本大会に参加してもらいたいなど、我々は無私の気持ちで支援を行いました。

来年の大会開催においても支援が楽しみです。例年どおりの支援者では高齢化が進んでいるため、今後は若い会員の参加を促していきたいと考えています。

東播支部事務局



給水所



スタート・ゴールゲート



東播支部の精鋭「カシャ！」



競技中の小野市役所前